

営農ファイル

露地キュウリ

1. 整枝について

一度に4本以上の摘芯は避けてください。葉3枚以上が展開した枝の生長点を3〜4本残します。光が当たるように誘引し枝の整理を行ってください。今後は高温が続く樹勢も衰えやすい為、収穫ピーク前の摘芯は控えてください。

2. 摘葉について

草勢を見ながらおこないますが、老化葉・病葉だけではなく、採光や通風を妨げている葉は摘葉してください。又、摘葉と同時に不良果の摘果を行い樹勢の回復を図ってください。摘芯、摘葉時には、つる枯れ防除の徹底をお願いします。

3. 灌水について

毎日、もしくは1日おきの灌水を行い、少量多灌水を心がけてください。高温時の灌水は避け、早朝の涼しい時間に10a当たり3〜4tを目安に液肥と合わせ灌水します。又、通路や畦のかたが乾いているようであれば排水を考え水分過多にならないよう通路へ灌水を行ってください。

4. 黄化えそ病(MYSV)について

ミナミキイロアザミウマの防除及びほ場内の除草を徹底してください。発病株は直ちに抜根してください。本病と疑われる症状が発生した場合、JA・農業改良普及センターに連絡してください。

ニラ

まだまだ暑い日が続きます。こまめな水分管理、スリップスの防除・対策をよろしく

くお願いいたします。また、台風が発生が懸念される時期でもあります。にらが倒伏しないように中途刈りを行うなど倒伏防止に努めてください。これからの時期はさび病の発生が懸念されます。発生してからでは遅いです。〇番出荷に向け徹底防除をよろしくお願いします。

ミニトマト

購入苗の引取り日に間に合うように計画的な圃場準備、施肥を行ってください。コナジラミの発生を防ぐ為、定植前にハウス内の農薬散布による予防をおすすめします。また、ハウス周辺の除草もしっかりと行いましょう。初期の樹づくりが大変重要となります。樹づくりの基本は根張りの促進です。根をどれだけ張らせるか、どれだけ作ってやるかが定植後1ヶ月の大きなポイントとなります。

大玉トマト

購入苗の引取り日に間に合うように計画的な圃場準備、施肥を行ってください。また、コナジラミ対策として苗への防除と同じく圃場準備が完了した時点で圃場内の防除とあわせてハウス周りの除草もしっかり行ってください。苗の定植後は活着するまで手灌水にてしっかりと灌水を行ってください。活着後は基本的に灌水を控えますが苗の状況や天候に応じ灌水を行ってください。土壌の極端な乾燥、過湿は根痛み等につながるので注意してください。定植が早い圃場については、遮光資材等を利用し、ハウスの高温対策を行ってください。

イチゴ

定植まであと1カ月となりました。白根状態を確保し極端な窒素切りは避けましょう。本圃への害虫の持ち込みを無くするため

防除を行ってください。天敵やハチへの影響日数を逆算し、農薬を選定しましょう。炭疽病の発生拡大が懸念されます。切り離し後や降雨時は必ず防除を行いましょう。風通しを良くし、密植にならないようにしてください。

ブドウ

出荷の早い品種については、収穫終了後から翌年の生産へ向けた準備となります。そのため、べと病・ヨトウムシ、コガネムシ等の発生に注意し、早期落葉を防いでください。出荷の遅い品種については高温に注意し樹上灌水又は散水を行い、温度の調整をしてください。また、土壌分析に基づいた施肥と適切な灌水を実施してください。

【防除】

- ・べと病：Zボルドー(500〜800倍)又はICボルドー48Q(25〜100倍)。
- ・葉害軽減の為、Ca剤の混用(バイカルティ等)
- ・コガネムシ類：アクロスリン(水)2000倍
- ・ヨトウムシ：エクシレルSE 5000倍

キンカン

【摘果】

実止まり確認後の8月上旬から摘果すると、初期肥大は旺盛になりますが、夜温が23℃以上ある場合、再出蕾してしまいます。(夏芽が発生)このため、8月末から粗摘果(2個成り果、傷果を開始してください。結果量は、結果枝の長さ・太さにより調整しますが、葉8枚に1果程度とします。

【防除】

- ・黒点病：ペンコゼブ(水)600倍
- ・褐色腐敗病：ランマン(F/L)2000倍

露地ミカン

急な雨や晴れ間の多い時期になりますの

令和5年10月期和牛登録検査を下記日程にて行います。

	川南	都農
検査日	10月25日	10月23日
場所	見晴中央検査場	坂の上中央検査場
時間	対象者にご案内	
料金	本原登録・基本登録ともに7,000円	
申込先	畜産課 27-1600	都農畜産係 25-1191

※育種価調査を行いますので登録検査の受付締切を

令和5年9月25日(月)までとさせていただきます。

なお、**4頭以上で自宅受検**ができます。

※受付締切は検査日1カ月前までとさせていただきます。

※受検頭数により、日程変更をする場合があります。

和牛登録検査日程について

で、病害虫が発生しやすくなります。前年の被害状況等を参考にしながら、黒点病・ハダニの被害を最小限に抑えて青果率を高めてください。

【防除】

- ・ハダニアカリタツチ(乳)2000倍(収穫直前の場合)
- ・カメムシ：スタークル(顆粒)2000倍
- ・褐色腐敗病：ランマン(F/L)2000倍又は、ライメイ(F/L)3000倍又は、アリエッテイ(水)800倍
- ・台風対策 事前防除 かいよう病 銅剤の散布。
- ・黒点病：ペンコゼブ水和剤 600倍



=畜産課=